

**JUKI**

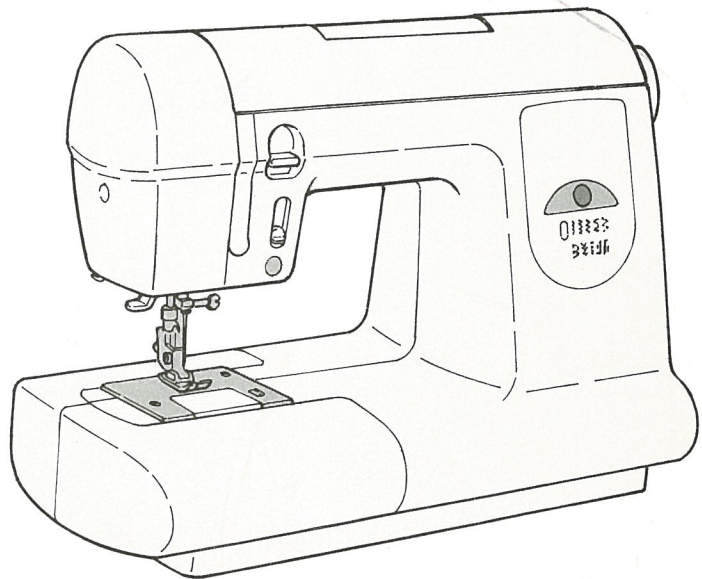
電子ミシン

**NEW COSER 57**

ニューコセール

NEW  
コセール  
H2L-57

# 取扱説明書

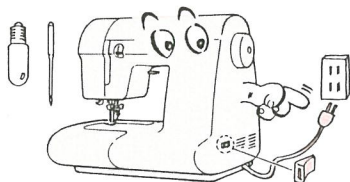


お買い上げいただきまして まことにありがとうございます。

このミシンは 直線ぬいを初めとして  
ホームソーイングに適した数々の模様ぬいが内蔵されています。  
正しくミシンをご使用していただくために  
どうぞ この「取扱説明書」をよくお読みいただき  
ホームソーイングのパートナーとして 末長く ご愛用ください。

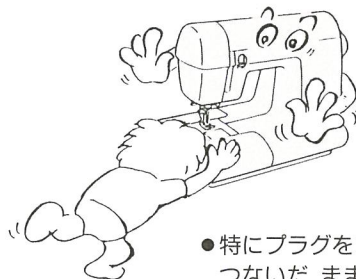
正しくご使用していただくために下記のことは必ずお守りください。

針のとりかえ、ランプの交換、掃除などのときは  
必ず電源を切ってから行ってください。



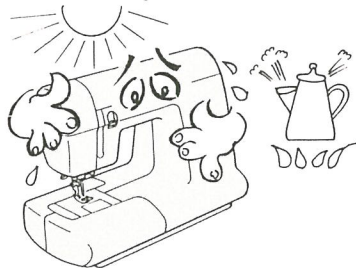
○特にカバー類をはずす場合はコンセントから  
プラグをぬってください。

お子様の手の届くところに置かないでください。

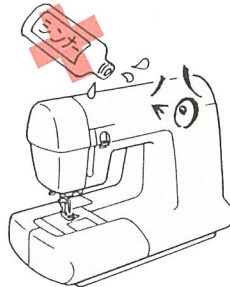


●特にプラグをコンセントに  
つないだ ままだと危険です。

直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には  
置かないでください。



シンナーなどの溶剤で ふかないでください。

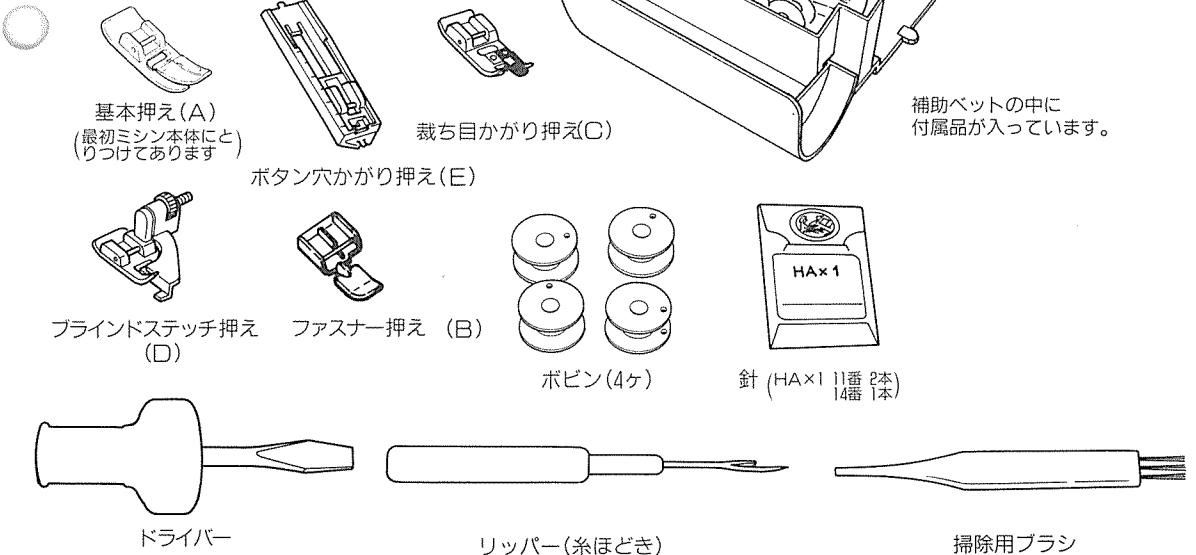


●やわらかい布に  
中性洗剤を少量つけて、  
よくふきとってください。

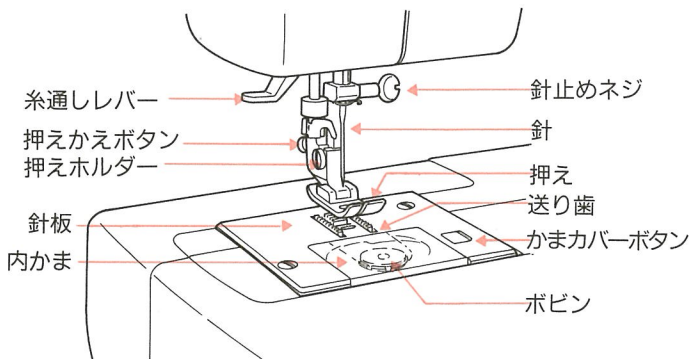
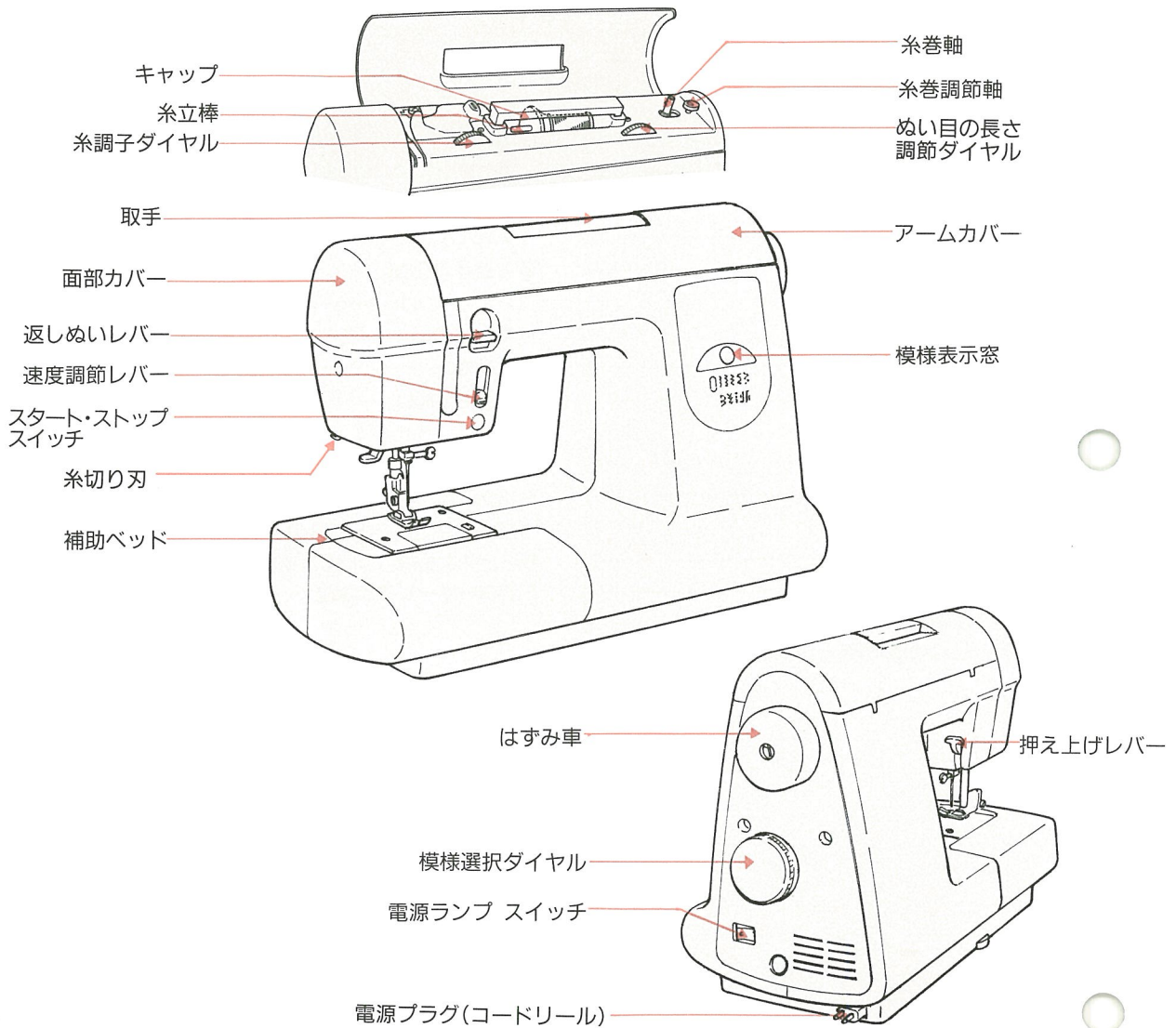
## も く じ

付属品	2	直線ぬい	9
各部のなまえ	3	返しぬい(ほつれ止め)	
フリーアームのセット		ジグザグぬい	10
主なはたらき	4	ボタン穴かがりぬい	10
下糸の準備	5	裁ち目かがりぬい	11
下糸巻きの糸のかけ方		ファスナーつけ	11
ボビンを内かまに入れるには		伸縮強化ぬい	12
上糸のかけ方	6	まつりぬい	12
針自動糸通し		突き合わせぬい	12
下糸の引きあげ方		ランプの交換	13
のとりかえ方	7	ミシンの手入れ(掃除)	13
針について	7	コントローラー(別売品)のご案内	13
針の交換、針の選び方、調べ方		サービスをお申し付けになる前に	14
押えと各模様の関係	7	アフターサービスと保証	14
糸調子の合わせ方	8		
各模様のぬい目の長さ調節範囲	8		
布地・ミシン糸・ミシン針の関係と合わせ方	8		

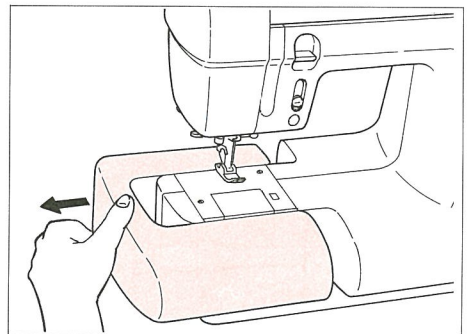
### ■ 付属品



## ■各部のなまえ



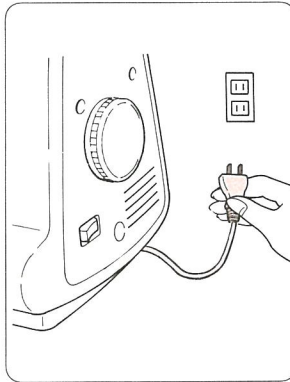
### フリーアーム



補助ベッドを左へ引きますとフリーアームになります。

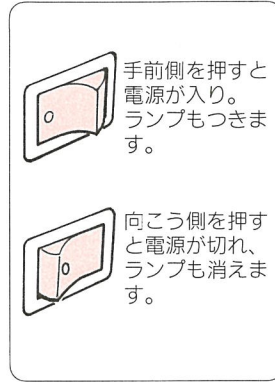
## ■主な はたらき

電源・コードリール



コードを引き出します。  
コードを少し引いてゆるめます  
と巻きこみます。

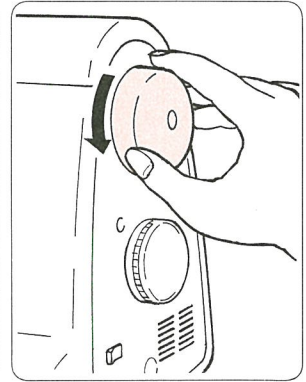
電源ランプ スイッチ



手前側を押すと  
電源が入り。  
ランプもつきま  
す。

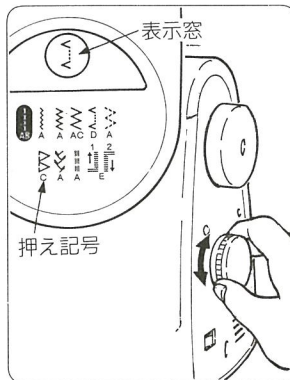
向こう側を押す  
と電源が切れ、  
ランプも消えま  
す。

はずみ車



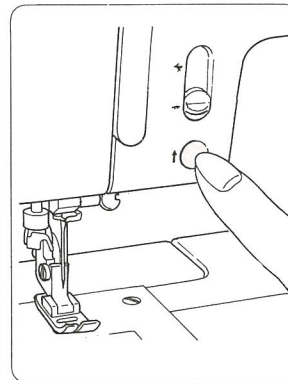
はずみ車を回すと針が上下しま  
す。  
はずみ車は、必ず手前に回して  
ください。

模様選択ダイヤルと表示窓



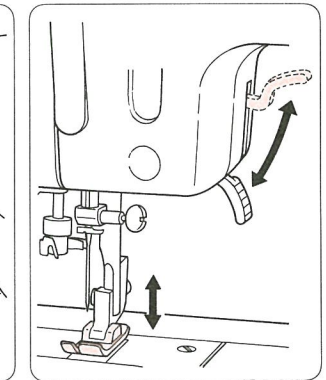
模様選択ダイヤルを回し、  
表示窓に出した模様がぬえます。

スタート・ストップスイッチ



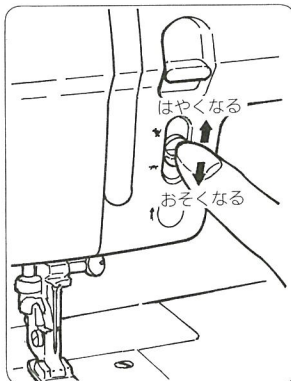
ミシンをスタートさせます。  
再度押しとストップします。

押え上げレバー



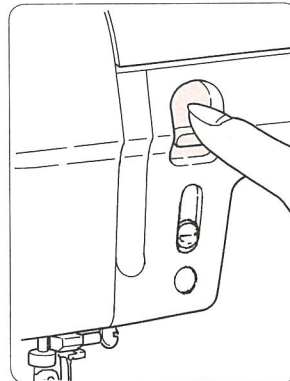
上にあげると押えがあがります。  
下へさげると押えはさがります。

ぬい速度調節レバー



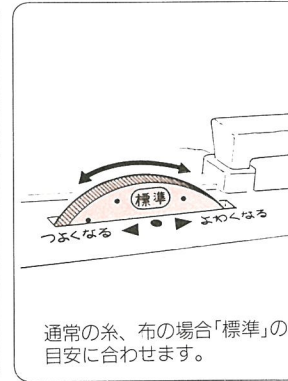
ぬい速度を調節します。

返しぬいレバー



ぬい始め、ぬい終りにレバーを  
押しと返しぬいができます。

糸調子ダイヤル



通常の糸、布の場合「標準」の  
目安に合わせます。

左に回すと上糸調子が強くなり  
右に回すと弱くなります。

ぬい目の長さ調節ダイヤル

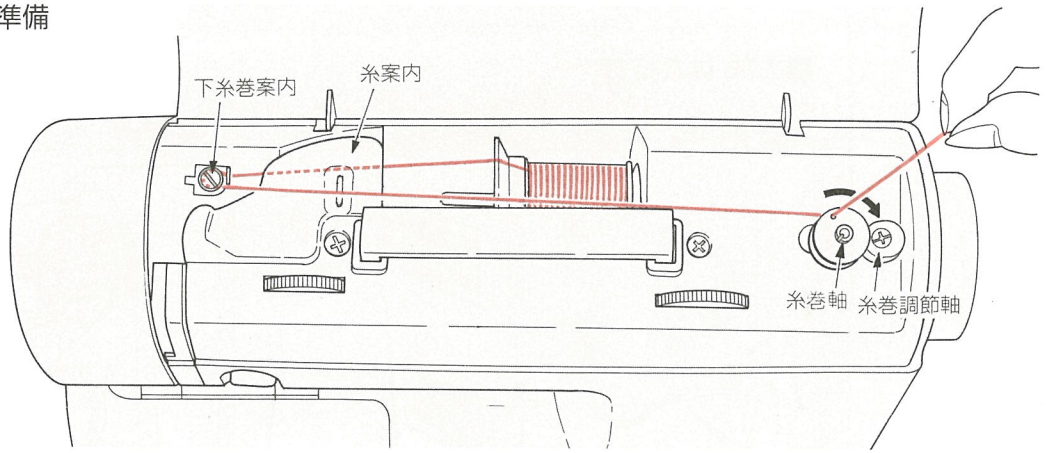


の模様は自動的に最適な  
ぬい目が設定されていま  
すので調節することはで  
きません。

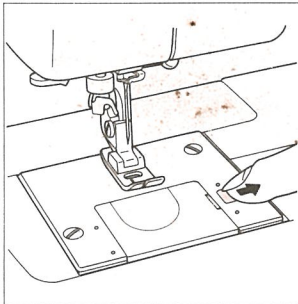
数字が小さくなるとこまかく、  
大きくなると荒くなります。



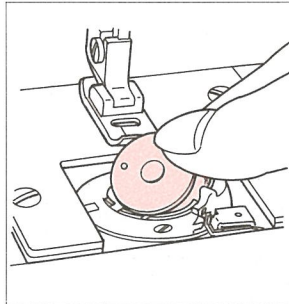
## ■下糸の準備



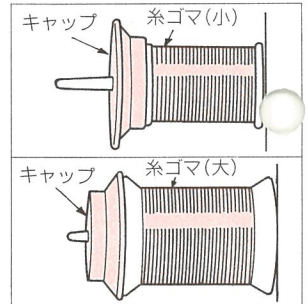
### 1 かまカバーを開けます



### 2 ボビンをとり出します

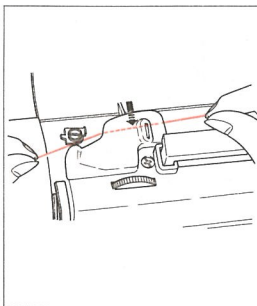


### 3 糸ゴマをセットします

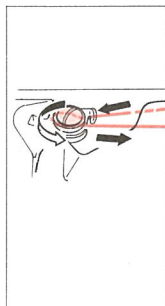


糸ゴマの外周に応じてキャップの裏表をかえてとりつけます。

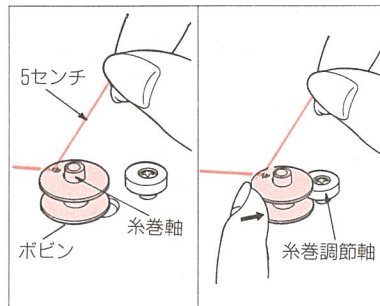
### 4 糸案内に入れます



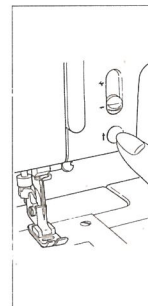
### 5 下糸巻案内にかけます



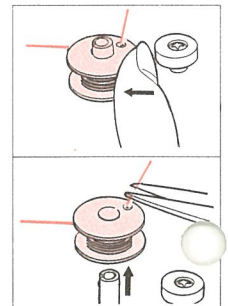
### 6 ボビンを糸巻軸にセットします



### 7 スタートさせます



### 8 ボビンを左側へもどします



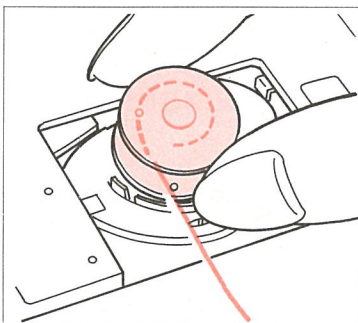
両手で奥まで入れます。

ボビンを糸巻調節軸へ押しつけます。

巻き終わったら再度スタート・ストップスイッチを押します。

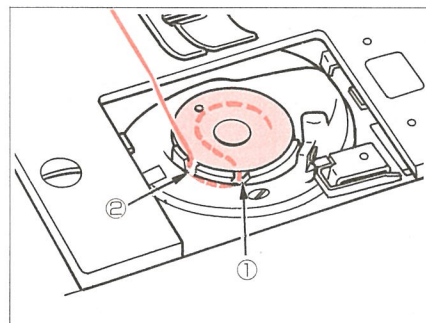
余分な糸を切りボビンをとり出します。

### 9 内かまに入れます



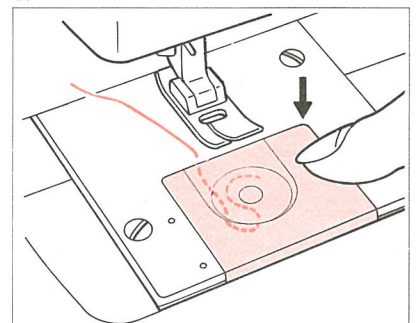
ボビンの糸の巻き方向をまちがわないように！

### 10 内かまに糸をかけます

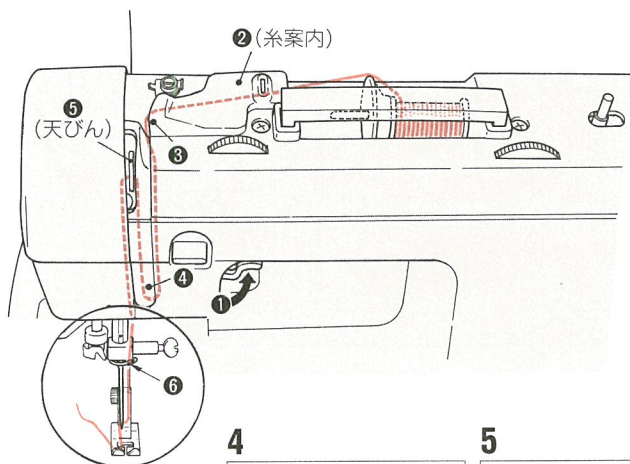


①に糸をかけ ②のミソの上へのせ後ろへもって行きます。

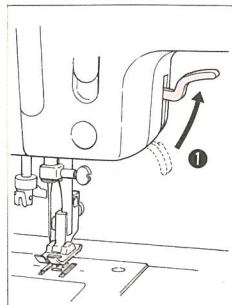
### 11 かまカバーを閉じます



## ■上糸のかけ方

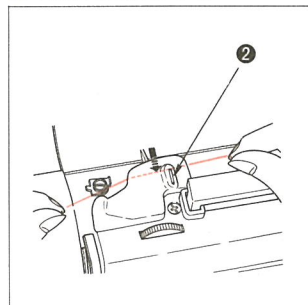


最初に押え上げレバーをあげます

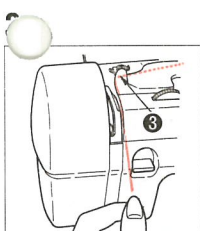


押えをあげると糸調子皿が開きます。

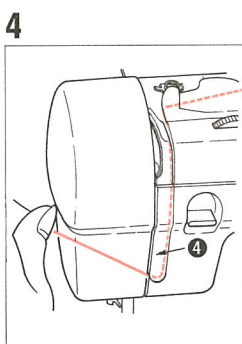
2 糸案内にかけます



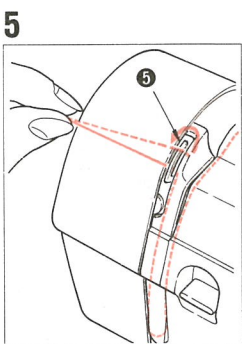
両手で奥まで引きよせます。



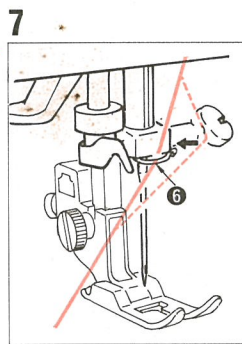
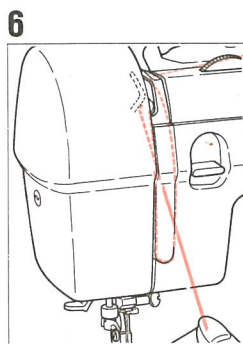
3から下へおろします。



4から上にもって行きます。



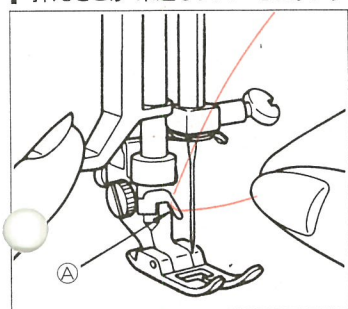
5 天びんにかけてます。



6は右側からかけます。

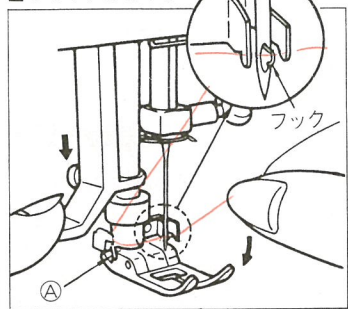
## 針自動糸通し

1 押えをさげ 糸通しレバーをさげます



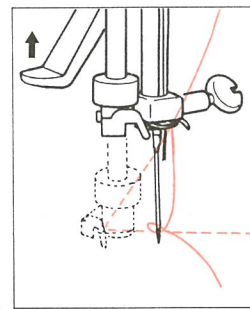
針が一番上にあげ 糸通しレバーを途中(重くなる直前)までさげてAに糸をかけます。

2 フックにかけます



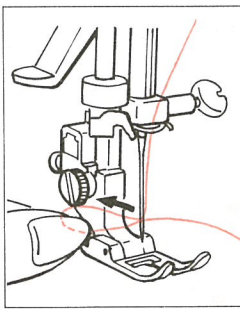
さらに糸通しレバーをさげてフックに糸をかけます。

3 糸通しレバーをあげます



指をはなすとフックに糸をひっかけて針穴に通します。

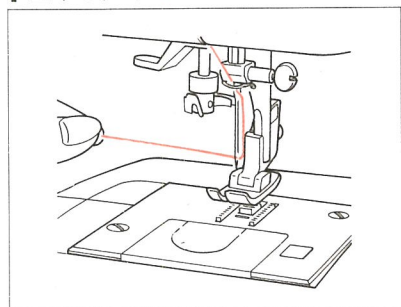
4 糸をひき出します



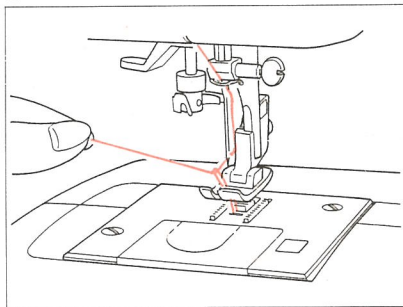
通した糸を針穴から10センチくらい引き出します。

## 下糸の引きあげ方

1 上糸を軽くもちます

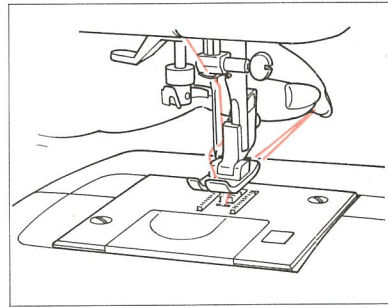


2 はずみ車を手前に回します



針が上下して 下糸を引き出します。

3 上・下糸を10センチ出します



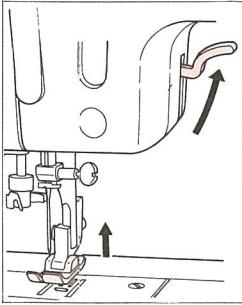
上・下糸を押えの下にして後ろへそろえて出します。



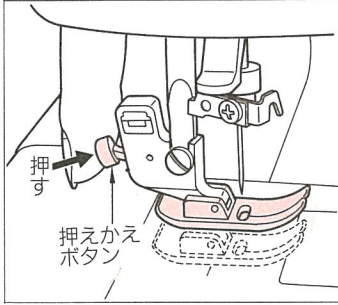
## ■押えのとりかえ方



### 1 押えを上げます

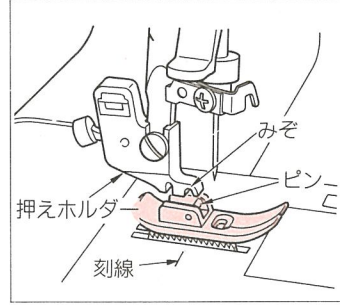


### 2 押えをはずします

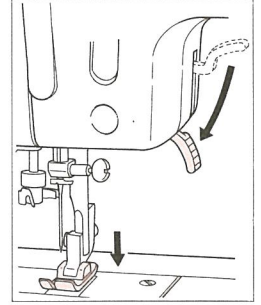


押えかえボタンを矢印の方向に押します。

### 3 押えのピンと刻線を合わせます



### 4 押えを下げます



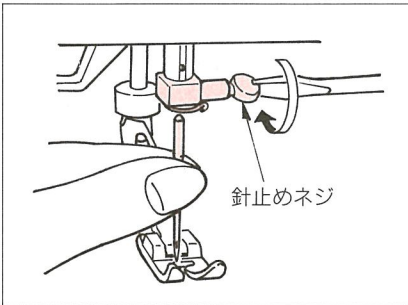
押え上げレバーを下げると押えはセットされます。

## ■針について



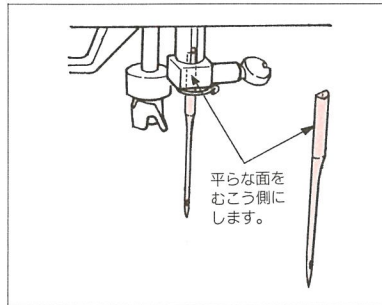
※針の交換のときは必ず電源を切ってください。

### 1 針のはずし方

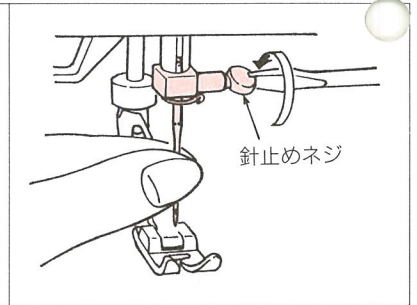


針を最上部にあげ針止めネジをゆるめます。

### 2 針のとりつけ方



針の平らな面をむこう側にして上方へ当るまで差しこみます。



ドライバーで針止めネジをかたくしめます。

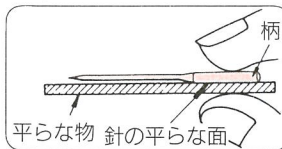
### ●針の選び方

針をお求めの際は家庭用ミシン針のHA×1 または HA×1KN(ニット針)を指定します。

太さの番号表示数字が大きくなると針が太くなります。



### ●針の調べ方



すき間が針先まで平均に見えるのが良い針です。針先が曲ったり、つぶれているものは使わないようにします。

## ■押えと各模様の関係(押えをまちがえますと針がぶつかり折れたり曲ったりしますのでご注意ください)

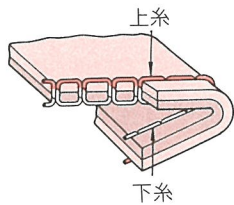
押え	基本押え					ファスナー押え	裁ち目かがり押え	ブラインドステッチ押え	ボタン穴かがり押え
	押え記号A					押え記号B	押え記号C	押え記号D	押え記号E
模様	┆┆┆┆┆		~~~~~	~~~~~	~~~~~	┆┆┆┆┆	~~~~~	~~~~~	1 ↑       2 ↓ 
主な用途	直線ぬい	伸縮強化ぬい	ジグザグぬい	三点ジグザグ	パッチワーク	ファスナーつけ	裁ち目かがり (オーバーロック)	ブラインドステッチ (まつりぬい)	ボタン穴かがり





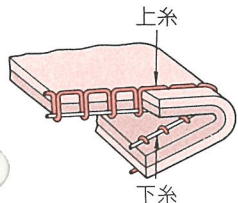
## ■糸調子の合わせ方

### ○ 正しい糸調子

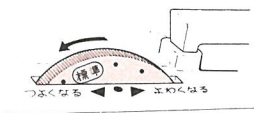


上糸と下糸のからみが布の中心にくるのが正しい糸調子です。

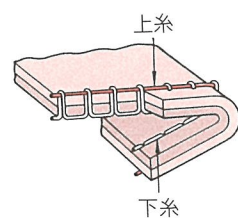
### ✕ 上糸の調子が弱いとき



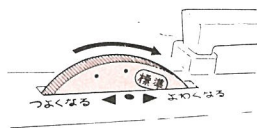
糸調子ダイヤルを「標準」よりつよくします。



### ✕ 上糸が調子が強いとき



糸調子ダイヤルを「標準」よりよわくします。



## ■各模様のぬい目の長さ調節範囲

模 様	調節範囲	調節(0.5~4)例	
		直線ぬい	ジグザグぬい
直 線	0~4	~	~
ジグザグ	0~4	~	~
ブラインド	0~4	~	~
三点ジグザグ	0~4	~	~
スーパー模様	自動	自動的に最適なぬい目の長さが設定されていますので調節できません。	
ボタン穴かがり	0.2~1	(0.2) ~ (1)	

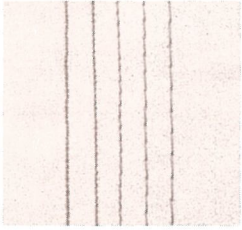
## ■布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方

	布 地	ミ シ ン 糸	ミシン針	ぬい目の長さ		糸調子の目安
				直線ぬい	ジグザグぬい	
薄地ぬい	ローン	絹ミシン糸 80~100番	(9番)	1~3	1~4	
	ジョーゼット	化繊・細ミシン糸 90・100番	11番			
	トリコット	化繊ミシン糸 60~100番	ニット針 11番			
	ウール・化セン布	絹ミシン糸 80番 化繊ミシン糸 60~100番	11番			
普通地ぬい	普通木綿・化セン布	綿糸 50~80番 化繊ミシン糸 50~60番	11~14番	1.5~3	0.5~4	
	薄手ジャージー	絹ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50~60番	ニット針 11番			
	一般ウール・化セン服地		11~14番			
厚地ぬい	デニム	綿糸 30~50番 化繊ミシン糸 30~50番	14~16番	2~4	0.5~4	
	ジャージー	絹ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50~60番	ニット針 11~14番			
	コート地	絹ミシン糸 50番	11~14番			

※ニット針(HA×1KN)は目とびを防ぎ伸縮性の布地に適します。

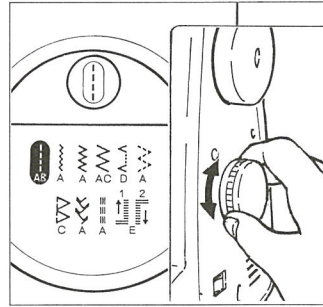
※フィラメント糸の場合は「標準」より強めにします。

## ■直線ぬい



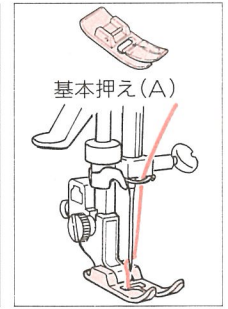
直線ぬいは、ぬいの基本です。布地に適した針と糸を選びましょう。

### 1 直線模様を選びます

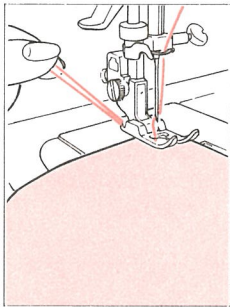


模様選択ダイヤルを回して合わせます。

### 2 とりつけます

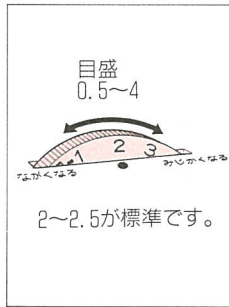


### 3 布地を入れ 押えをさげます



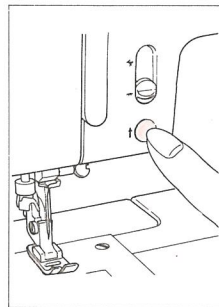
布地を押えの下におきぬい始める位置に針を落とします。上下糸をそろえて押えをさげます。

### 4 ぬい目の長さを決めます



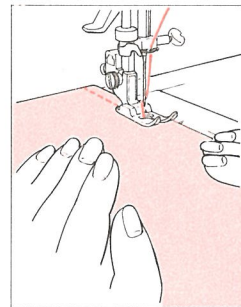
ぬい目の長さ調節ダイヤルを回します。

### 5 スタートさせます



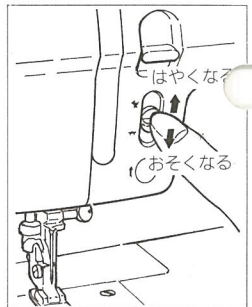
スタート・ストップスイッチを押します。

### 6 布地に軽く手をそえます



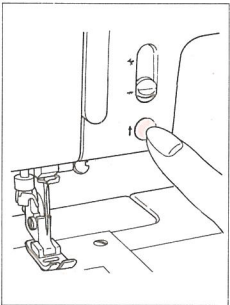
ぬっている間は布地をむりに引っぱらないようにします。

### 7 ぬい速度を調節します



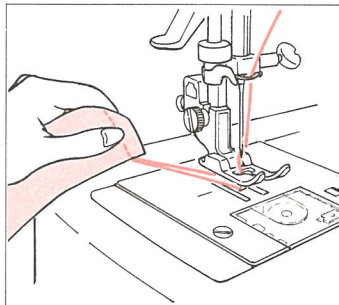
上になると はやくなり 下になると おそくなります。

### 8 ストップさせます



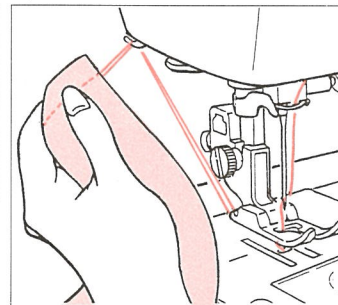
スタート・ストップスイッチを押します。

### 9 押えをあげて布地をとり出します



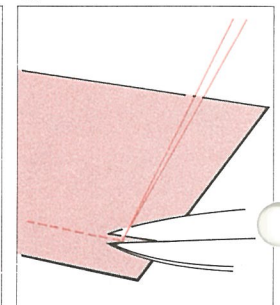
針が完全に止まってから、押え上げレバーをあげます。

### 10 糸を切ります



上・下糸をそろえて10センチくらい引き出し面部の糸切り刃で糸を切ります。

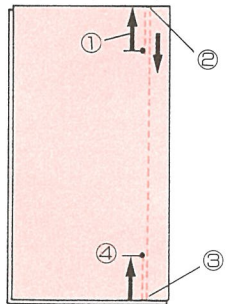
### 11 布地の裏で糸を結びます



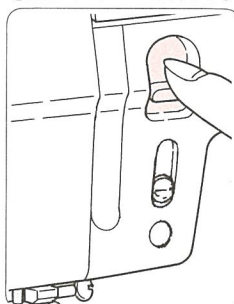
布地の裏側に上糸を引き出し上糸と下糸を結び 結び目のきわで糸を切ります。

## ■返しぬい

(ほつれ止め)

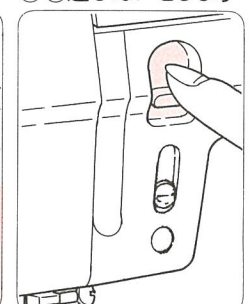


### ① 返しぬいレバーを押します ② スタートスイッチを押します



返しぬいレバーを押している間だけ返しぬいをします。

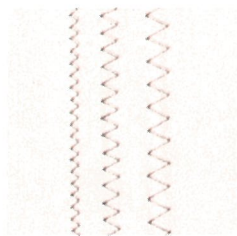
### ③ ④ 返しぬいをします



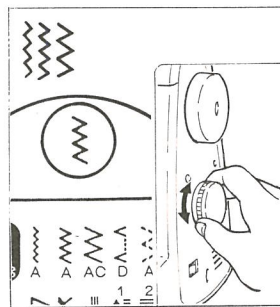
指をはなすとストップします。



## ■ジグザグぬい

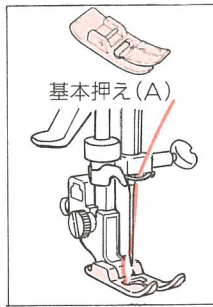


### 1 ジグザグ模様を選びます



3種類のうち お好みの振り幅模様に合わせてみます。

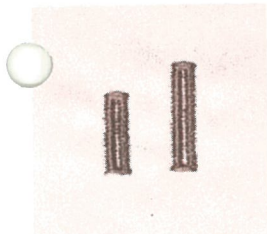
### 2 基本押え(A)をとりつけます



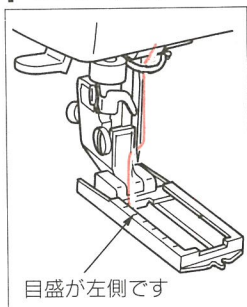
### ●ジグザグの振り幅とぬい目の長さの関係

ジグザグ模様			
振り幅	小 1.5	中 3.3	大 5
ぬい目の長さの調節	0.5 ~ 4	0.5 ~ 4	0.5 ~ 4

## ■ボタン穴かがり

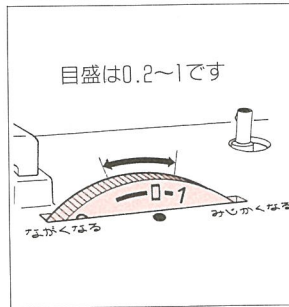


### 1 ボタン穴かがり押え(E)をとりつけます



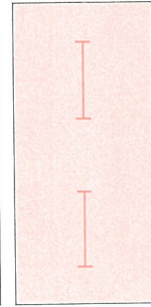
目盛が左側です

### 2 ぬい目の長さを合わせます

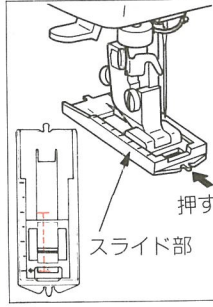


目盛は0.2~1です

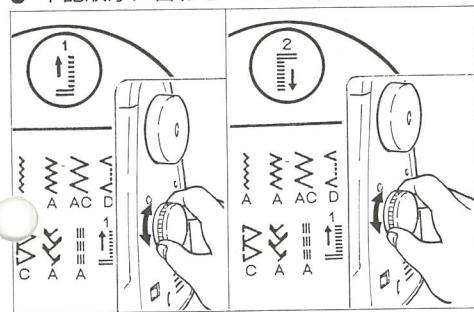
### 3 ボタン径を測り布地に印をつけます



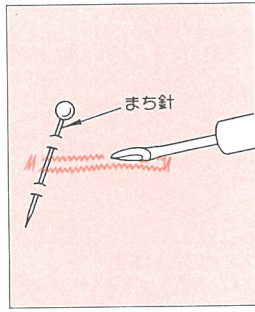
### 4 スライド部を押して布地の印に合わせます



### 5 ボタン穴かがり模様を下記順序に合わせてぬいます



### 6 ぬい終わったらリッパーで穴をあけます



切りすぎないようにまち針を使うと失敗しません。



### 左右のぬい目の長さが合わないときの調整方法

1. 調整するときは、**1**の模様を指標に合わせます。

2. はすみ車の下の調整穴にドライバーをさし込み、ぬい目の状態に合わせて調整します。

右側が粗すぎるとき

右側が細すぎるとき

左側のぬい目を基準として右側のぬい目を調整します。

### ボタン穴かがりを失敗したとき

—失敗した場所により操作がちがいます—



#### をぬっている途中で失敗した場合

1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. 模様選択ダイヤルの **1** を選びます。
3. 10針ぐらい空運転させます。
4. 模様選択ダイヤルの **1** を選び最初からぬい直します。

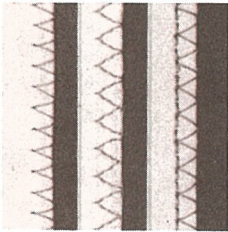


#### をぬっている途中で失敗した場合

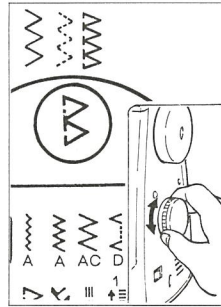
1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. 模様選択ダイヤルの **2** を選び最初からぬい直します。



## ■ 裁ち目かがり

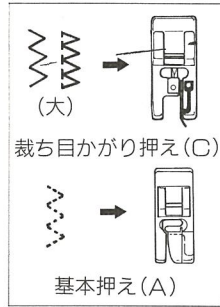


### 1 模様を選びます



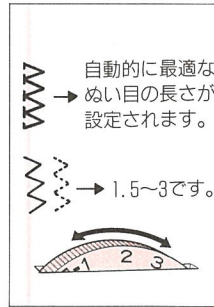
3種類のうち お好みの模様を合わせます。

### 2 押えをかえます

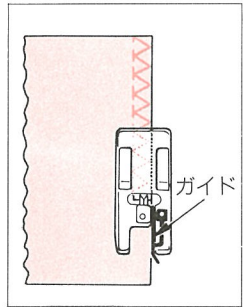


※三点ジグザグぬいは必ず基本押え(A)をお使いください。

### 3 ぬい目の長さを決めます

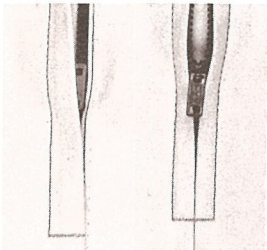


### 4 使う場合



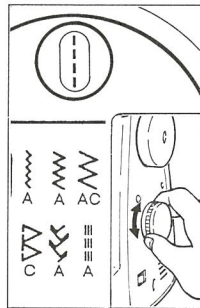
布端をガイドにあててぬいます。

## ■ ファスナーつけ

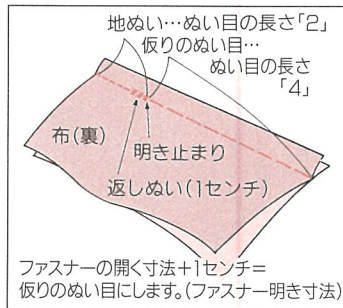


ファスナーつけは一般的に脇明きファスナーつけとつき合わせファスナーつけがあります。

### 1 直線模様を選びます

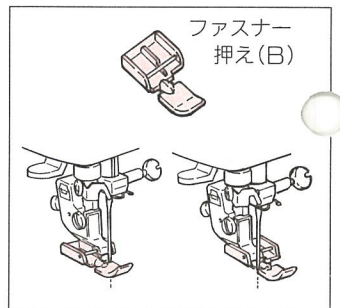


### 2 基本押え(A)を使い地ぬいと仮りのぬいをします



布地を中表に合わせ、地ぬいととりつけるファスナーの寸法を確かめて仮りのぬいをします。(ファスナー明き寸法)

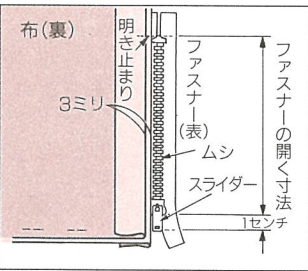
### 3 ファスナー押え(B)をセットします



ファスナーの右側をぬうときは押えの左にセットします。左側をぬうときは押えの右にセットします。

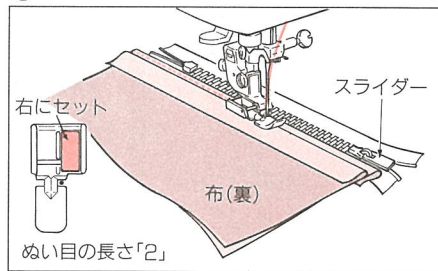
## 脇明きファスナーつけ

### ① ぬい代をわります



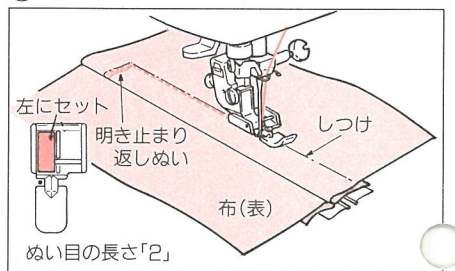
ぬい代をきちんとわり、後ろ布のぬい代を3ミリ出して、アイロンで折り目をつけ折り山をムシのきわにあてます。

### ② ファスナーの下方から上方にぬいつけます



押えの端をムシのきわに当てぬいます。ファスナーの slider のところは手前5センチ位でミシンを止め、slider を押えの向こう側へさけて端までぬいつけます。

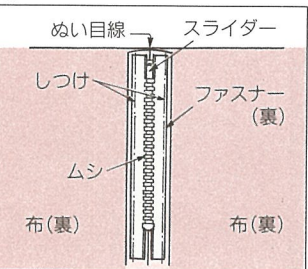
### ③ してからぬいつけます



slider を引き上げて、上布をファスナーの上にかぶせてしつけをします。明き止まりの返しぬいをして図のようにぬいます。slider のところは仮りのぬい目をほどいて slider をさけ残りをぬいます。

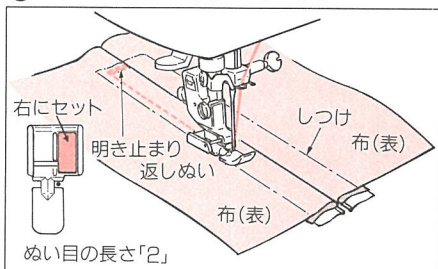
## つき合わせファスナーつけ

### ① ファスナーをしつけます

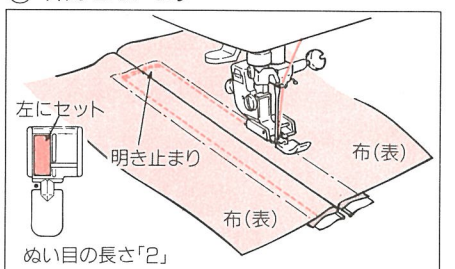


ぬい代をわり、ぬい目線ファスナーのムシの中心と合わせてしつけをします。

### ② 左側を明き止まりからぬいます



### ③ 右側をぬいます

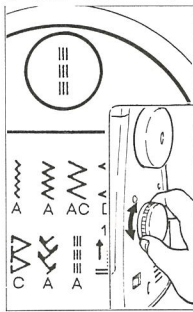


ぬい終了したら仮りのぬい目をほどきます。

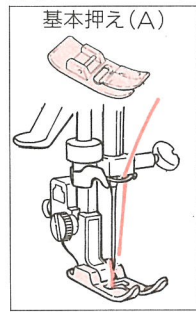
## ■伸縮強化ぬい (ストレッチステッチ)

伸縮性のある布地や、力がかかってほつれやすい部分などに使うとぬい目がしっかりします。

### 1 模様を選びます



### 2 押えをかえます



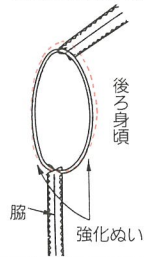
### 3 ぬい目の長さは自動的に決まります

この模様はぬい目の長さ調節ダイヤルの目盛がこの位置にあっても自動的に最適なぬい目になります。

## ■使用例

### ●袖つけ

後ろ袖や、袖下に力がかかりほつれやすいところに使います。



### ●よく使用するポケットつけ



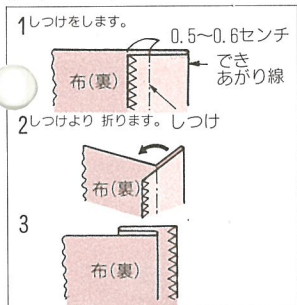
### ●袋ものにとってつけ



## ■まつりぬい (ブラインドステッチ)

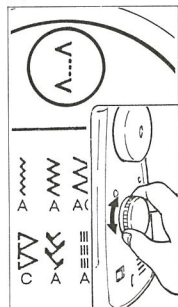
裁ち目かがりをして

### 1 布地を折ります

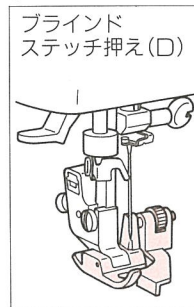


裁ち目かがりは前ページ参照。 ※ぬい目の長さは2~4にします。

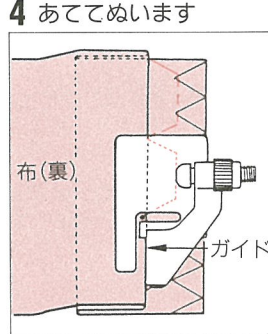
### 2 模様を選びます



### 3 押えをかえます

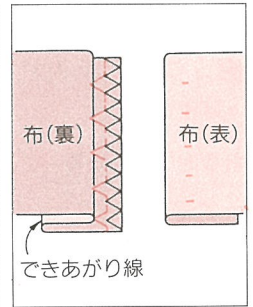


### 4 押えのガイドにあててぬいます



押えのガイドを折り山にピッタリあててぬいます。

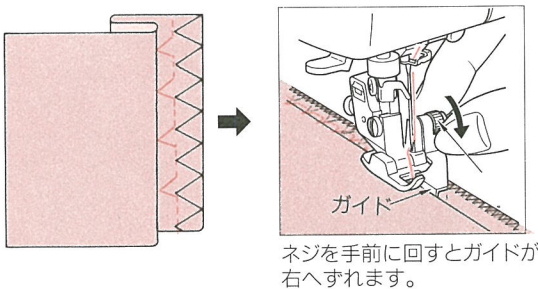
### 5 布地を折りかえします



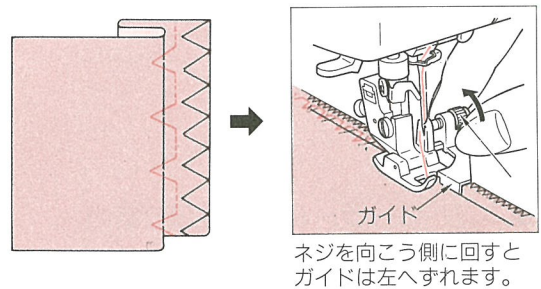
ぬい終わりましたら 布地を折りかえしアイロンでとのえます。

## ●ブラインドステッチ押えのガイド調節方法

### ●折り山にぬい目がかからない場合

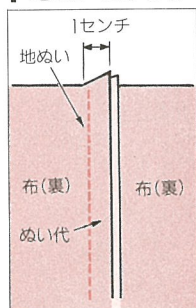


### ●折り山にぬい目がかかりすぎた場合



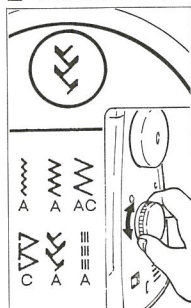
## ■突き合わせぬい (パッチワーク)

### 1 地ぬいをします

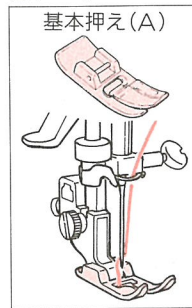


2枚の布地に地ぬいをします。

### 2 模様を選びます



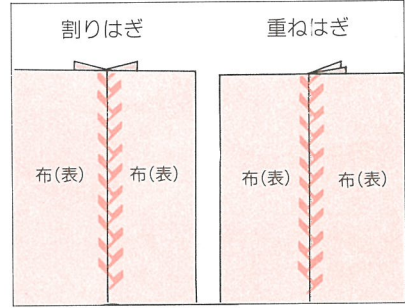
### 3 押えを確かめます



### 4 ぬい目の長さは自動的に決まります

この模様はぬい目の長さ調節ダイヤルの目盛がこの位置にあっても自動的に最適なぬい目になります。

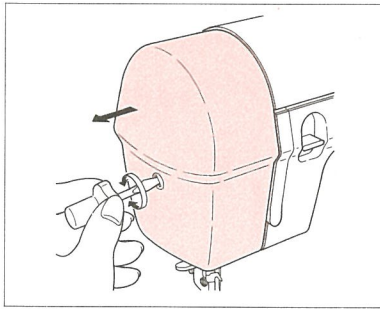
### 5



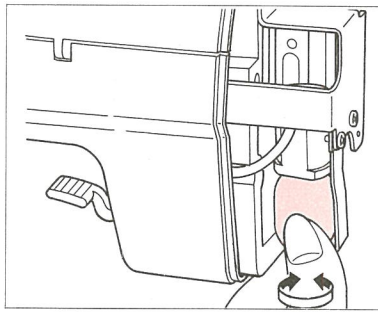
両方の布地に 模様があたがるようにぬいます。



## ■ランプの交換 (面部カバーのとりはずし方)



面部カバーの前面の止めネジをまわし、面部カバーをはずします。



- ランプの消費電力は15Wです。
- ランプのお買い求めの際は、このミシンをお買い上げいただきました販売店でお求めください。



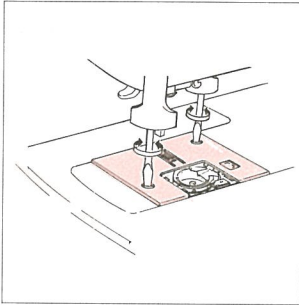
※ランプの交換や掃除するときは必ず室内コンセントから電源プラグを抜き電源を切ってください。

## ■ミシンの手入れ

糸くずやほこりが たまりますと 故障の原因となります。常にきれいにしておきましょう。

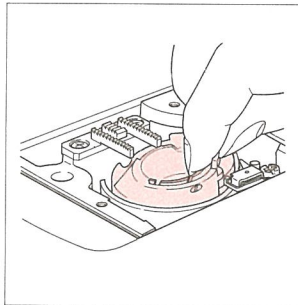
### ●掃除

針板をはずします

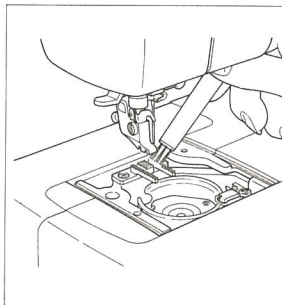


針や押えをはずしてから針板をはずします。

内かまをとりはずします



掃除用ブラシを使います



送り歯とかまの中と周辺をきれいにします。たくさんたまってしまったときは掃除機を使うときれいになります。

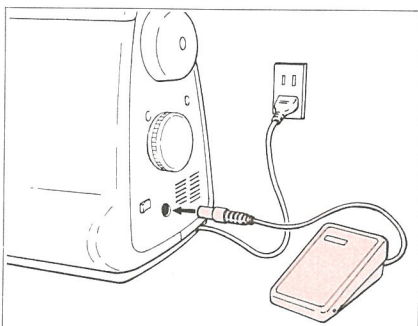
内かまのセットのし方



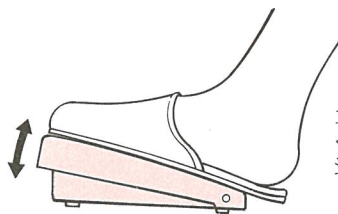
内かまの凸部と合わせて落しこみます

## ■コントローラー(別売品)のご案内

コントローラーを使いますと足の操作でスタートとストップからスピードコントロールができます。



コントローラーのプラグをミシンのコンセントに差しこみます。



コントローラーを深く踏むと速くなり、浅く踏むと遅くなります。足をはなすとミシンは止まります。針は上で止まります。

スタートストップスイッチはストップのみ有効です。速度調節レバーは使えません。



## ■サービスをお申しつける前に

下記のような場合は故障ではありません。サービスをお申しつける前にもう一度お確かめください。

現象	原因(理由)	処置方法	ページ
布が送らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ミシンが空転しているとき</li> <li>● 送り(ぬい目の長さ)が「0」になっているとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸巻軸を左へもどします</li> <li>● 送りを「1~4」に合わせます</li> </ul>	5 8
針が折れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 針のとりつけ方が間違っているとき</li> <li>● 針が曲っているとき</li> <li>● 押えと選んだ模様が合わないとき</li> <li>● 針・糸・布地の関係が悪いとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しくとりつけます</li> <li>● 新しい針にとりかえます</li> <li>● 模様に合った押えを使います</li> <li>● 布地に合った針・糸を使います</li> </ul>	7 7 7 8
上糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸のかけ方が間違っているとき</li> <li>● 糸が必要以外の所へからんでいるとき</li> <li>● 上糸の調子が強すぎる時</li> <li>● 針が曲っているとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しくかけ直します</li> <li>● 糸立棒、糸案内などからまわっていないか調べます</li> <li>● 上糸調子を正しく直します</li> <li>● 新しい針にとりかえます</li> </ul>	6 — 8 7
下糸が切れる ぬい目ごとぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 針のつけ方が間違っているとき</li> <li>● 針が曲っているとき</li> <li>● 糸のかけ方が間違っているとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しくとりつけます</li> <li>● 新しい針にとりかえます</li> <li>● 正しくかけ直します</li> </ul>	7 7 6
回転が重く、音が高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 釜に糸くすがたまっているとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 釜を掃除します</li> </ul>	13
ぬいじわが出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸調子が強すぎる時</li> <li>● 布地と針と糸が合っていないとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸調子を合わせます</li> <li>● 正しく合わせます</li> </ul>	8 8
スタート・ストップ スイッチを押しても ミシンが回らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸巻軸が糸巻状態になっている</li> <li>● 針をかまの中に落したままになっている</li> <li>● コントローラー(別売)がセットされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 糸巻軸を左側へもどします</li> <li>● 針をとりのぞきます</li> <li>● コントローラーでスタートさせるか、とりはずします</li> </ul>	5 — 13
糸通しができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 針が上にあがっていないとき</li> <li>● 針をとりつけるとき奥まで突き当たっていないとき</li> <li>● 糸通しレバーをさげたまま(糸通し中)誤ってミシンを回してしまったとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● はずみ車を回して、針を最上点にあげます</li> <li>● 針を正しくとりつけます</li> <li>● はずみ車を手でわずか向う側(ぬうときと反対)に回します</li> </ul>	6 7 —
模様ダイヤルが回らない場合		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 押え上げレバーを上げ、はずみ車を手前に2~3回回してください</li> </ul>	—

## 1 アフターサービスと保証

- このミシンには保証書がついています。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
- 保証期間中でも有料になることもありますので、ご了承ください。(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店にご相談ください。  
 当社は、このミシンの補修用性能部品を、お買い求めの日から最低8年間保有しています。

**JUKI**

JUKI 株式会社

〒182 東京都調布市国領町8-2-1

☎ 03-3480-7112

